

歩行者回遊性向上社会実験業務に係る  
プロポーザル審査委員会設置要綱

(設置)

第1条 歩行者回遊性向上社会実験業務に係るプロポーザル方式による事業者の選定を厳正かつ公平に行うため、プロポーザル審査委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は次の事務を所掌する。

- (1) 審査方法, 評価基準に関すること。
- (2) 企画提案の評価に関すること。
- (3) 最適提案者の選定に関すること。
- (4) その他目的を達成するために必要な事項

(委員)

第3条 委員会は次の各号に掲げる団体等に所属する者により構成する。

- (1) 国立大学法人北海道教育大学函館校
- (2) 函館商工会議所
- (3) 函館駅前東地区市街地再開発準備組合

2 委員の任期は、所掌事務に係る協議が終了したときまでとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により1人を定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ定めた者がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、市長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 会議の議事は出席した委員の合議により決し、合議により決するこ

とができないときは、議長の決するところによる。

- 4 会議は、原則として非公開とする。
- 5 会議は、書面にて開催することができる。
- 6 会議は、委員長が必要と認めるときは、ウェブ会議の方法（インターネットを通じて、委員の間で相互に映像および音声の送受信、資料の共有等を行う方法をいう。以下同じ。）により開催するものとする。この場合において、当該委員はウェブ会議の方法による会議への参加をもって委員会に出席したものとみなす。

（中立の保持）

第6条 委員は、プロポーザル方式の提案者と利害関係がある場合は、議事に加わることができない。

- 2 委員は、プロポーザル方式の提案者に対して、特定の利益または不利益を与える行為をしてはならない。

（守秘義務）

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を他にもらしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

（謝礼）

第8条 市長は、委員に対し、予算の範囲内で謝礼を支給する。

（庶務）

第9条 委員会の庶務は、都市建設部都市計画課において処理し、会議の議事録を作成したうえで保管するものとする。

（補則）

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。